

みよしごみ通信

第 1 号(平成29年10月発行)

三好市・東みよし町のごみを処理する 清掃センターをご存知ですか？

ごみ処理施設はみなさんの日々のくらしを支えるためになくてはならない施設です。

ごみ処理をストップすることは許されないので、施設の点検整備は欠かせません。

1981年(昭和56年)に建設されて36年になる
三好市西山のみよし広域連合清掃センター

ごみ処理のながれ(燃やすごみの場合)



ごみを焼却炉に投入！



850℃以上で燃やす！



環境基準厳守のため
徹底管理！



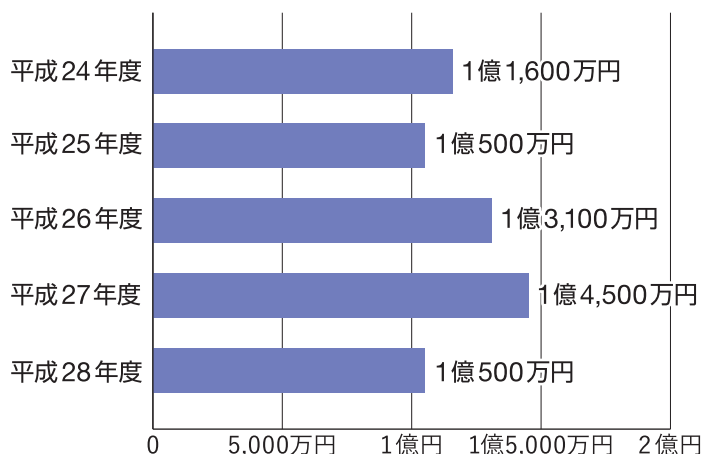
焼却灰を安全に
埋め立てる！

しかし、長年使い続けたため老朽化が進み、毎年1億円以上の維持補修費がかかっており、今後も増えていくことが予想されます。

また、補修や修繕による部分的な対処は限界に近づいています。

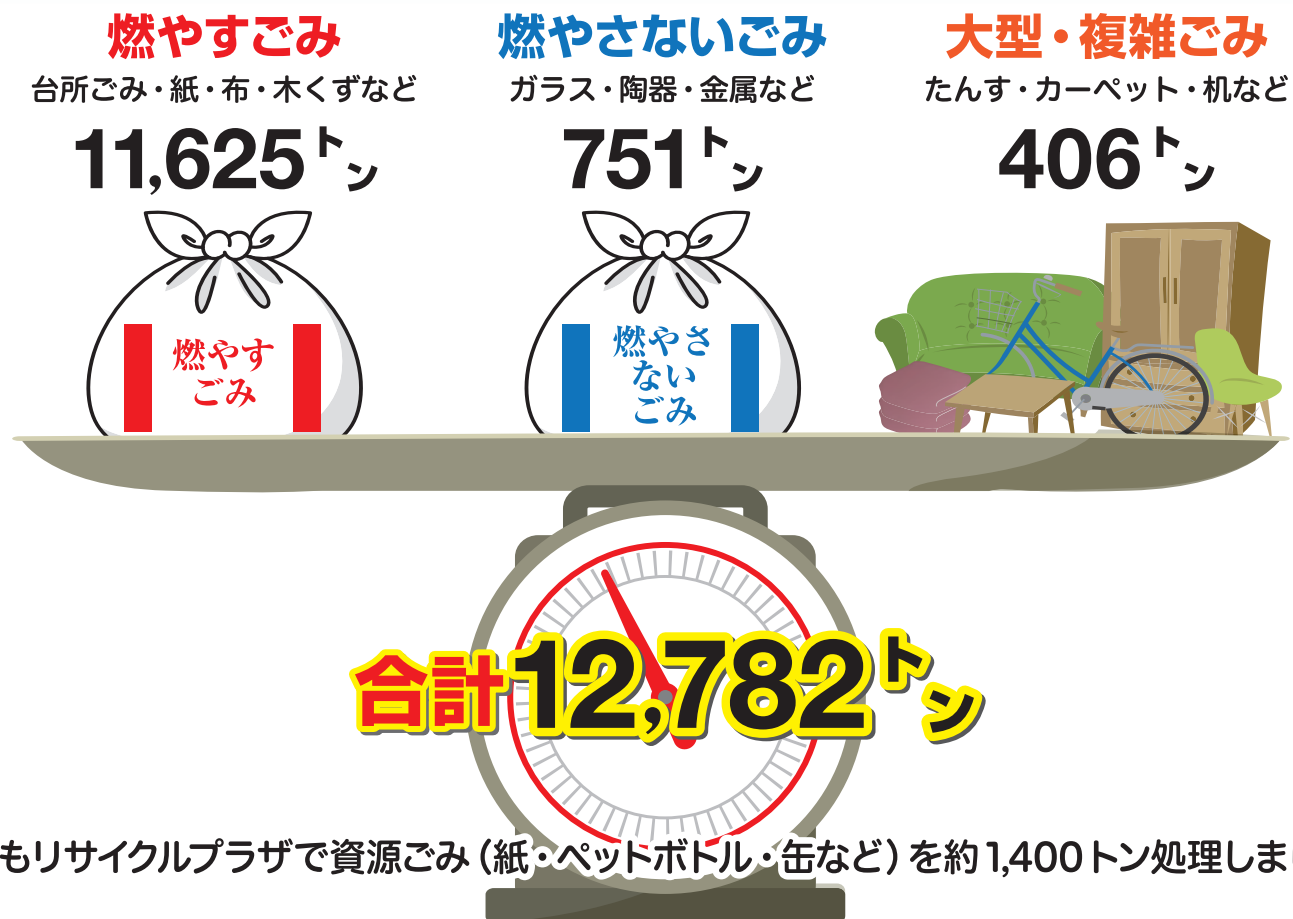
このため、みよし広域連合では、新しい清掃センターの建設を考えています。

維持補修工事費の推移 (過去5年間)



平成28年度 清掃センターごみ処理の現状

処理したごみ量



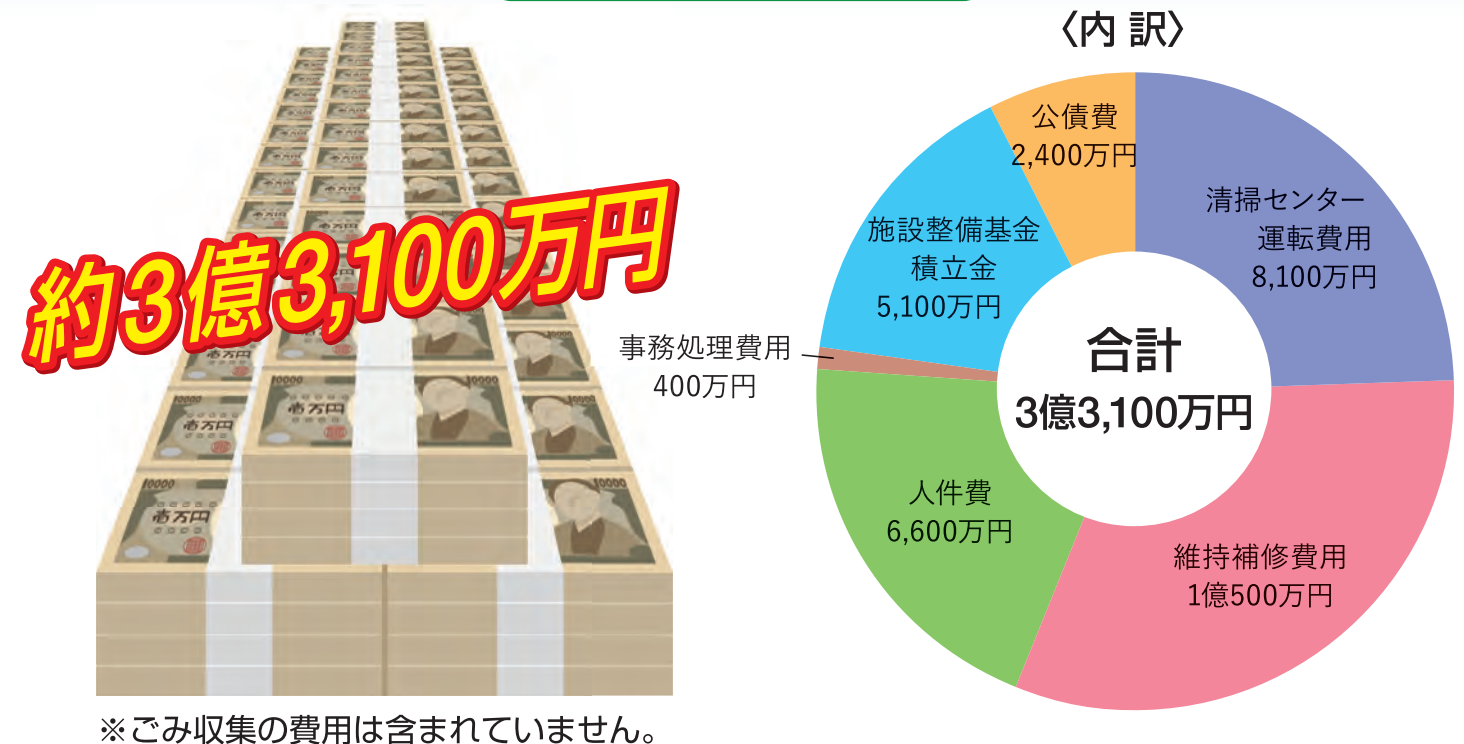
他にもリサイクルプラザで資源ごみ（紙・ペットボトル・缶など）を約1,400トン処理しました。

清掃センターの点検や維持補修の様子



設備は定期的に点検補修をおこない、維持管理に努めていますが、施設が古くなり、突発的な故障が増えてきています。

処理経費



ごみ処理の費用

	ごみ1トンあたりの処理費用	25,900円
	ごみ袋1袋あたりの処理費用 (注1)	78円
	住民1人あたりの1年間の処理費用 (注2)	6,200円

(注1)：ごみ袋1袋あたり3kgで算出しました。

(注2)：平成29年3月31日現在 三好市・東みよし町の住民基本台帳に基づく人口42,095人・年間処理量12,782トン（そのうち家庭系ごみの割合は10,035トン）で算出しました。

清掃センター新設に向けて

新しい清掃センターの建設に向けて、みよし広域連合では検討会・協議会を開き、議論を重ねてまいりました。

現在は、用地選定委員会を設置し、より良い施設の建設に向けて活動を行っております。



清掃センターからのお知らせ

ごみの出し方に注意してください!



収集車や施設で火災・爆発が発生しています!

発火する恐れのあるごみ(スプレー缶・カセット式ガスボンベ・ライターなど)を出すときに適切な処理を怠ると、重大な事故につながります。



爆発の原因になった缶

発火する恐れのあるごみの出し方

スプレー缶



カセット式
ガスボンベ



ライター



- ・ 必ず使い切ること
- ・ スプレー缶・カセット式ガスボンベは火気のない屋外で必ず穴をあけること

中身の見えるごみ袋(ビニール袋・レジ袋)に入れて出してください

※指定ごみ袋はありません

発行・編集

みよし広域連合事業課

Tel: 0883-72-3308

Fax: 0883-72-0695

みよし広域連合ごみ処理施設ホームページ

<http://www.miyoshikouiki.jp/bunya/seisou/>

みよし広域連合では廃棄物に係る情報の提供に努めるため、「みよしごみ通信」を発行してまいります。